



冬のボーナスカットを許さないぞ！シリーズ⑥

## 役員報酬10%減額は妥当なのか？ 社員から減額するよりも役員報酬を見直せ！

金子社長は8月5日の記者会見で、コロナの影響を受け、5～7月に実施していた役員報酬の10%返上を、8月以降も3ヶ月間継続すると明らかにしました。仮に報酬の総額を返上したとすると、以下の数値になります。

取締役（社外取締役を除く）15人の基本報酬と賞与の総額は  
**6億200万円+2億2,900万円=8億3,100万円**

一人あたりの平均金額は

**8億3,100万円÷15人=5,540万円**

10%返上したとすると

**5,540万円×10%=554万円**

つまり、**一般社員の年収に相当**

**従って、10%カットしても痛くも痒くもない！**

全社員の皆さん、一般社員のボーナスを減額する前に、役員報酬をもっと減額すべきではないでしょうか。JR東海労は、ボーナスの減額には反対です。

※上記データは第33期（H31年4月1日～R2年3月31日）有価証券報告書を参考

**JR東海労はコロナ禍を理由に労働者へ  
我慢と犠牲を強いる会社を許しません！**